

### 第 106 回 研究会報告

第 106 回技術交流研究会が、平成 18 年 12 月 7 日 (木)に株式会社ドーコン会議室で開催されました。

当日は、『特許の世界で何が起きているのか — プロパテント政策と企業の特許戦略 —』と題して静岡県から HT コンサルタント合資会社代表の武隈宏之氏お招きしてご講演いただくとともに、講演会終了後にはアークシティホテルにおいて懇親会&忘年会を行いました。

#### ◆第 106 回 講演概要

『特許の世界で何が起きているのか』

— プロパテント政策と企業の特許戦略 —

HT コンサルタント合資会社

代表 武隈 宏之 氏

#### 【講演要旨】

小泉前総理が打ち出したプロパテント政策により、知的財産の重要性が日々高まってきています。

知的財産の中でも、特許と著作権がその代表格ですが、ここでは技術に関連する特許に焦点をあてて、最近の特許に関する事件として、セイコーエプソンのインカートリッジ関連特許の無効判決と日立の一連の職務発明対価訴訟を取り上げ、その本質について話をいたします。

また、これら 2 つの事件を通して、特許紛争を有利に進めたり、回避したりしていくためのより本質的な解決策として、企業一特に中小企業における特許戦略のあり方を考え、意匠権・著作権・不正競争防止法なども視野に入れて、企業の持つ技術の活かし方・守り方を探っていきます。

#### ◆(独)宇宙航空研究開発機構(JAXA)保有特許等の活用についてのご案内

今回ご講演していただいた武隈氏は、JAXA の外

部特許コーディネーターでもあります。その仕事の内容を以下にご紹介します。

JAXA は、日本の宇宙航空の研究、開発を進めてきた宇宙科学研究所、航空宇宙技術研究所、宇宙開発事業団の 3 つの機関を統合して設立された機関です。これまでの研究開発を通じて、実に幅広い分野において約 1,000 件の特許等 (出願済みで未登録のものを含む) の蓄積があります。そして、これらの特許等を様々な産業で活用していただくことにより、各産業の育成に寄与できればと考え、これらの特許等のライセンスを積極的に進めているところです。

しかし、保有する特許等の技術分野が実に幅広く、まだ必要とされる方に知られていない恐れが多分にあります。そこで、知的財産流通に携わっている数社がライセンス可能性調査の委託を受け、外部コーディネーターとして各分野の各機関に当たり、これらの特許等のご紹介をさせていただくとともに、ライセンスの可能性について探っています。

JAXA 保有の各種特許に興味がある方は、保有する特許の一部を技術交流研究会の HP に掲載しますので、ご覧下さい。

#### ◆お知らせ

第 107 回技術交流研究会は、平成 19 年 3 月 1 日 (木)を予定しています。次回の研究会は、技術交流研究会のメンバーの中から川村政良技術士 (建設部門・総合技術監理部門) と佐々木春代技術士 (水道部門・総合技術監理部門) に発表していただき、お二人の暗黙知を聞き出そうと思います。

詳しいご案内は、後日 EPO でお知らせします。

(文責：技術交流研究会幹事 吉野 大仁)